

# 2021年3月期 第4四半期 決算説明資料

株式会社 旅工房  
(証券コード6548)  
2021年5月13日



次に行く旅は、きっと一生忘れない。

## 新型コロナウイルス感染症への当社対応

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当社では以下の通り対応策を実施しております。

### お客様・お取引先様

#### お客様向け対応

- 当社が従来の強みとしてきたオンラインによる非接触での接客を引き続き維持しつつ、今後はWEB会議サービスやチャットなど利便性の高いサービスも展開

#### お取引様向け対応

- お互いの移動負担・リスクを低減するため、直接対面は避け、WEB・電話会議を中心に対応

### 従業員・社内環境

#### 従業員・勤務体制

- 感染リスクを低減すべく、テレワーク可能な体制を整備し、一部出社が必要な社員を除き原則テレワークで業務を遂行している
- 従業員のメンタルヘルス対策として、WEB会議サービス活用等で従業員同士のコミュニケーションを維持

#### 社内環境対策

- オフィススペースの衛生管理の徹底
- アルコール消毒液の出入り口への配備
- マスクの配布
- 従業員にマスク着用を推奨し、対面会議など人と接触する機会がある場合はマスク着用を指示

社名	株式会社 旅工房 (TABIKOBO Co. Ltd.)
本社	東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 46階
設立	1994年4月18日
資本金	6億5,447万2,542円 (2021年3月31日現在)
事業内容	旅行代理店として、主に国内の個人・法人顧客向けに旅行の手配サービスを提供
従業員数	352名 (旅工房連結、2021年3月31日現在)
代表取締役会長兼社長	高山 泰仁
上場市場	東京証券取引所マザーズ (証券コード 6548) 2017年4月18日上場
海外子会社	ALOHA 7, Inc. (米国ハワイ州) Tabikobo Vietnam Co., Ltd. (ベトナム社会主義共和国ホーチミン市) PT. Ramayana Tabikobo Travel (インドネシア共和国バリ州)

## 2021年3月期 第4四半期 決算概要



## 事業環境 (実績)

渡航制限等により出国者数大幅減

出国日本人数：△98.3%の30万6千人（2020/4～2021年3月）\*出典：日本政府観光局

## 連結業績

事業環境の悪化により、売上高が大幅減少し、コスト削減を進めるも  
売上高の大幅減少の影響を埋めるには至らず

売上高：1,654百万円（前期：33,355百万円 増減額：△31,700百万円）

経常利益：△1,354百万円（前期：138百万円 増減額：△1,492百万円）

親会社帰属利益：△1,408百万円（前期：88百万円 増減額：△1,497百万円）

## 連結財政状態

自己資本の減少及び現在の事業環境の長期化に備え、第三者割当増資及び  
有利子負債による調達を行う

自己資本：497百万円（前期末：1,528百万円 増減額：△1,031百万円）

有利子負債：4,200百万円（前期末：700百万円 増減額：+3,500百万円）

現金及び預金：3,520百万円（前期末：2,756百万円 増減額：+763百万円）

## 事業環境 (予測) 及び 来期の対策

2021年年度中に国内でもワクチンの普及が進み、年末から2022年度にかけて  
徐々に事業環境が回復していくと予測

従業員の積極的な出向、その他販管費の費用削減、機動的な資金調達を行うことで、  
従業員の雇用を守りながら、年末以降の事業環境の回復に備える

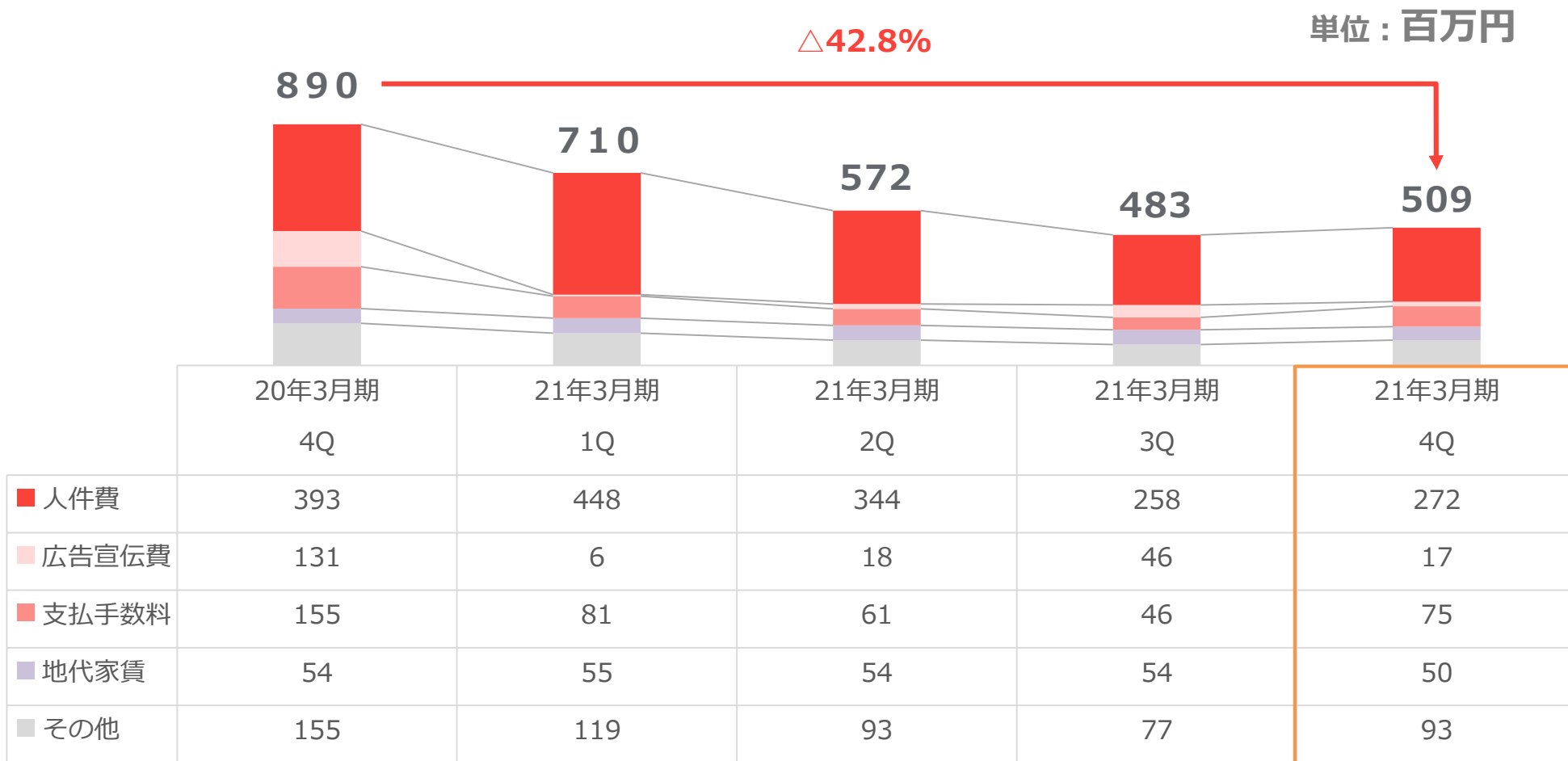
渡航制限等により海外旅行販売の売上がほぼ無い中、  
販管費の抑制を進め、雇用調整助成金を営業外収入に計上し、  
経常赤字の最小化に注力

2021年3月期  
決算期間

単位： 百万円	20/3期	20/3期	20/3期	20/3期	20/3期	2021年3月期 決算期間			20/3期	20/3期	前4Q/ 当4Q	当3Q/ 当4Q	前4Q/ 当4Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q累計	21/3月期	21/3期	21/3期	21/3期	21/3期	四半期 増減額	四半期 増減額	累計 増減額
売上高	7,944	10,457	8,747	6,206	33,355	150	162	1,170	171	1,654	△6,034	△998	△31,700
売上総利益	1,121	1,411	1,079	597	4,209	55	29	144	2	231	△594	△142	△3,977
販管費	1040	1,085	1,053	890	4,070	710	572	483	509	2,276	△380	26	△1,794
営業利益	81	325	25	△293	138	△655	△543	△339	△507	△2,044	△213	△168	△2,183
経常利益	80	323	16	△282	138	△648	△191	△210	△304	△1,354	△22	△94	△1,492



## 販管費は前4Q比較で△42.8% 22/3期は出向案件の積極獲得やその他販管費の見直し等による 販管費の抑制を計画



## コロナ後の事業環境の回復に備えるのため、借入を進めると共に 当期純損失の計上により、悪化した自己資本の対策として 第三者割当による新株予約権を発行し行使を進める

単位：百万円

	20/3期末	21/3期末	増減	
総資産	5,293	5,642	+348	<b>増減の主な内訳は</b> ・当期純損失：△1,408百万円 ・新株予約権の行使：+380百万円 新株予約権の内訳： ↳発行個数：+11,500個 行使された個数：△3,454個 未行使個数：8,046個
自己資本	1,528	497	△1,031	
自己資本比率	28.9%	8.8%	△20.1%	
有利子負債	700	4,200	+3,500	<b>増加の主な内訳は</b> ・短期借入金：+3,000百万円 ・長期借入金：+500百万円 ↳長期借入金は、 資本制劣後ローンであり、 金融機関の与信審査上は自己資本 に組み入れられる
現金及び預金	2,756	3,520	+763	
運転資本*	△1,457	319	+1,777	
敷金・保証金・預け金等	391	344	△47	

\* 運転資本 = 流動資産（除く現金及び預金） - 流動負債（除く短期借入金）



## 海外旅行販売の売上がほぼ無く、売上および売上総利益が大幅に減少 費用削減に努めたが、経常利益は前4Q累計比較で△1,492百万円

単位：百万円	20年3月期 4Q累計	21年3月期 4Q累計	前年同期 差額	
売上高	33,355	1,654	△31,700	売上高： 渡航制限等の影響で 海外旅行商品販売が ほぼ発生せず 大幅減
売上総利益	4,209	231	△3,977	
人件費	1,953	1,322	△630	販管費： 売上の大幅減を受けて 販管費を抑制
支払手数料	656	264	△392	
広告宣伝費	587	89	△497	
その他販売費及び一般管理費	872	599	△273	
営業利益	138	△2,044	△2,183	
経常利益	138	△1,354	△1,492	経常利益： 雇用調整助成金等の 営業外収益を計上
税金等調整前四半期純利益	140	△1,355	△1,496	
法人税等合計	44	57	12	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	88	△1,408	△1,497	

当期純損失の計上により利益剰余金が1,408百万円減少、  
資金調達により資本金等が380百万円、有利子負債が3,500百万円増加

単位：百万円	20年3月期 末	21年3月期 末	増減額	単位：百万円	20年3月期 末	21年3月期 末	増減額
流動資産	4,281	4,707	425	流動負債	3,682	4,566	884
現金及び預金	2,756	3,520	763	短期借入金	700	3,700	3,000
売掛金	176	363	186	未払金	557	387	△169
旅行前払金	398	70	△328	旅行前受金	832	45	△786
未収入金	686	536	△150	預り金	1,171	166	△1,005
固定資産	1,012	935	△77	固定負債	69	567	498
有形固定資産	168	141	△26	長期借入金	-	500	500
無形固定資産	390	431	40	負債合計	3,751	5,134	1,382
ソフトウェア	345	381	35	株主資本	1,512	484	△1,028
投資その他	453	361	△91	資本金等	838	1,218	380
繰延税金資産	44	-	△44	利益剰余金	674	△734	△1,408
資産合計	5,293	5,642	348	その他包括利益	16	13	△3
				非支配株主持分	13	8	△5
				純資産合計	1,542	508	△1,034

## 大幅な赤字により、営業活動CFが大きくマイナス、 資本・負債による資金調達により財務活動CFが大きくプラス

単位：百万円	20年3月期 4Q累計	21年3月期 4Q累計	前年同期 差額
営業活動CF	△1,343	△2,996	△1,653
税金等調整前当期純利益	140	△1,355	△1,759
減価償却費・減損損失等	100	139	38
その他営業活動CF	△1,583	△1,781	67
投資活動CF	△280	△131	148
固定資産の取得による支出	△306	△166	139
その他投資活動CF	26	35	9
財務活動CF	689	3,882	3,193
借入金の増減	693	3,500	2,806
新株予約権等による収入	0	382	382
その他財務活動CF	△5	0	5
現金及び現金同等物の期末残高	2,702	3,457	754

営業活動CF：  
税金等調整前当期純利益  
の大幅な減少等を受け  
大きくマイナス

財務活動CF：  
新株予約権等の行使  
借入金の増加  
により大きくプラス

## 2022年3月期 通期業績予想

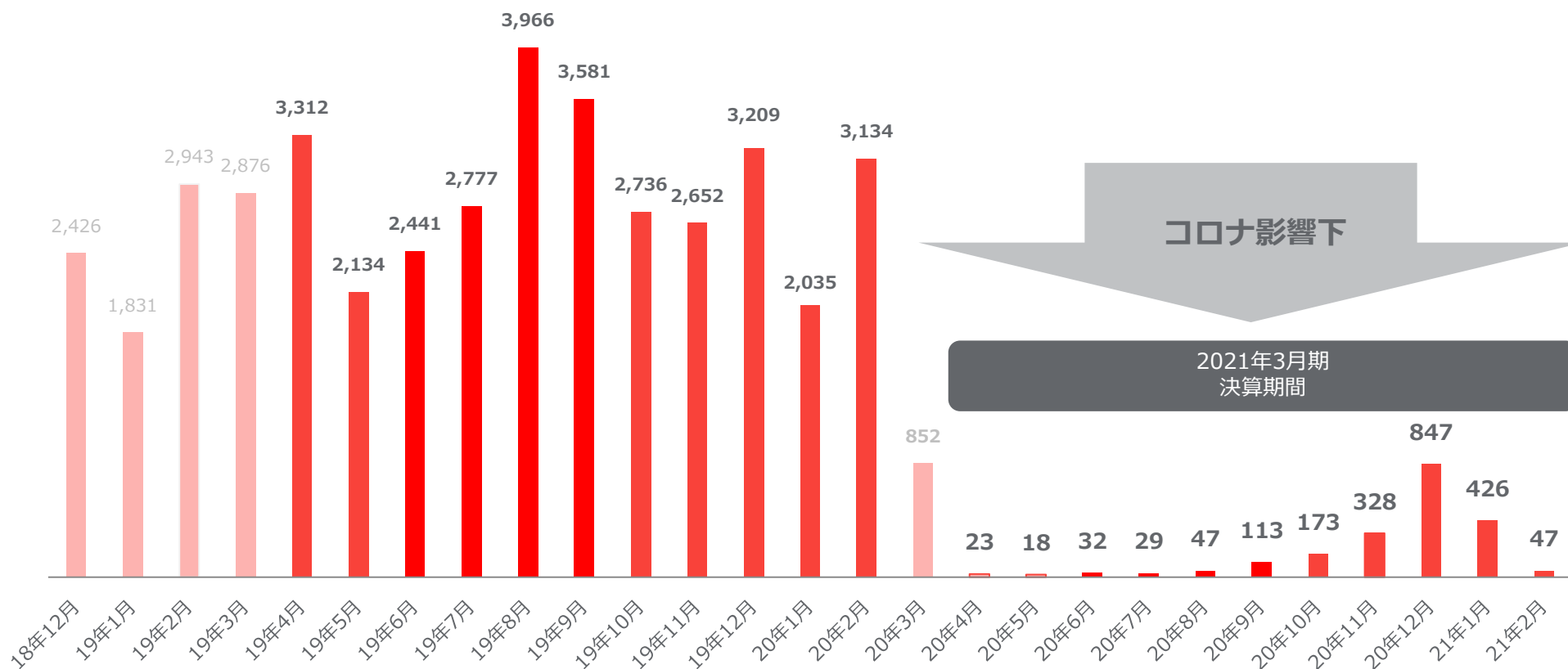


新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により情勢が日ごとに変化する中、現時点での合理的な業績予想の算定ができな  
いため、**2022年3月期の業績予想は未定**とさせていただきます。  
ます。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いた  
します。

## 2020年2月まで単月前年対比で成長を続けてきたが 2020年3月以降コロナの影響により急速に縮小

単位：百万円



※ 弊社が月次で公表している旅行取扱状況速報の数値に2020年6月26日に開示した従業員の不正による影響額の修正を加えたものです。  
なお、月次公表値は監査法人監査前の速報ベースのため決算数値とは一致していません。



## 2022年3月期 事業戦略



## 海外渡航再開を見据えた体制の維持と国内事業への投資継続

### 事業環境の予測

- 2021年度中に国内のワクチン接種が拡がり、渡航制限が解除され、2021年後半～2022年初頭には徐々に海外旅行の需要が戻ってくると予測

### 費用の削減と雇用の維持

- 海外旅行需要の本格的な回復を見据えながら、可能な限り支出を抑え、必要に応じて追加の資金調達を行い、財政状態を維持すると共に社員の雇用も維持

### 国内旅行販売への投資の継続

- 2021年3月期に開始した国内旅行販売に関しては、当社の主力事業の一つにするため投資を継続

## 販売施策

### 1. 国内ダイナミックパッケージ

- ・ANA,JALをはじめとした国内の全航空会社と全国20,000軒のホテルをWEB上で自由に選択/組み合わせができる「国内ダイナミックパッケージツアー」をリリースし、積極展開

### 2. 企画性の高い高付加価値ツアー

- ・北海道エアシステム(HAC)との共同企画「SAAB340B退役記念チャーターツアー」を販売。北海道6空港を2日間で巡り、機体前での記念撮影や格納庫の見学を盛り込んだツアーに。航空ファンを中心に即日完売となり、引き続き根強いファンの取り込みが可能な企画性の高いツアーを展開

### 3. 旅行会社の新たな店舗モデルの展開

- ・神奈川大学が2021年4月1日より新設したみなとみらいキャンパス内に「横浜みなとみらい支店」を出店。旅行販売に加え、学生向け海外グローバルプログラムや海外語学留学、スタディツアーや親子留学の開発、みなとみらい地区の観光情報の発信、観光人材養成プログラムの運営を担う

## マーケティング・システム施策

### 1. オンライン旅会(p.17参照)

- ・コロナ禍でも当社主催の旅会を開催することにより、タビマエ需要の喚起をすすめる
- ・当社顧客基盤施策の一環として、旅会参加者の会員登録を必須とすることにより、当社会員数の増加を進める

### 2. 露出拡大(p.18参照)

- ・リスティング広告のみならず、ポータルサイトとの提携やSNSその他への広告出稿、独自アンケート調査内容のテレビやweb媒体に多く取り上げられ、広告効果創出を推進

### 3. API接続の強化

- ・国内旅行販売強化のため、各航空会社とのAPI接続連携を進め、またホテルについてもサイトコントローラーとのAPI接続連携を進めることにより、仕入面での強化を図る

## 直近の旅会の申込者/会員数推移

- コロナ禍でも海外旅行の潜在ニーズは非常に大きく、会員数が増えており、会の規模は業界最大級
- 4/29のハワイ旅会がTVで取り上げられ、申込者数もさらに伸長

	(4/18) ドバイ旅会	(4/29) ハワイ旅会	(5/5) ニュージーランド旅会
申込者数	628人	654人	882人
旅会会員数 (累計)	3,263人	3,536人	3,944人

### EVENT 今後開催の旅会・オンラインツアー



2021.06.27 Sun. 11:00~12:00  
クアラルンプールで話題のSNS映えスポットを生中継でお届け！  
マレーシアオンライン旅会



2021.06.19 Sat. 14:45~16:00  
オールドスクヤアブラなど、伝統的なドバイの魅力を発見！  
オールド・ドバイ旅会



2021.05.30 Sun. 10:15~11:30  
古き良きハワイ“ハレイワタウン”から生中継！  
街ぶらハワイ旅会



2021.05.28 Fri. 19:30~20:20  
【座談会】グアムについて語ろう！  
～オンライン旅会～



2021.05.27 Thu. 19:30~20:30  
【座談会】香港について語ろう！  
～オンライン旅会～



2021.05.21 Fri. 19:30~20:30  
【座談会】ベトナムについて語ろう！  
～オンライン旅会～

## 今後のオンライン旅会

- オンライン旅会専用のWEBページを作成しており、旅会参加への導線構築を図っている
- 2021年3月より会員組織化しており、旅行需要回復後のさらなる顧客基盤の確立および拡大をすすめる

## 独自アンケート調査の実施

- 当社独自で調査したwebアンケートの結果をHPにてリリース

News Release tabikobo

報道関係者各位 2021年3月26日  
株式会社 旅工房  
(コード番号: 6548 東証マザーズ)

〈速報〉～「緊急事態宣言発出中&解除後の余暇の過ごし方に関するアンケート」～  
**どうなる!? 宣言解除後の余暇 「変わらない」が約6割**  
**外出・旅行意欲が回復傾向 「行楽や旅行」「外食」が増加**  
**コロナ懸念か、旅行は「行きたい派」と「行きたくない派」に二分**

オーダーメイドの旅を提供するトラベル・コンシェルジュ・カンパニー、株式会社旅工房（東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：高山 泰仁、以下「旅工房」）は、緊急事態宣言が解除された2021年3月22日（月）～23日（火）の2日間、「緊急事態宣言発出中&解除後の余暇の過ごし方に関するアンケート」をWEBアンケート方式で実施しました。

緊急事態宣言解除後の余暇の過ごし方に対する意識や実態を反映したアンケート調査（速報）となっております。報道の一資料として、ぜひご活用ください。

また、アンケート結果とともに、コロナ禍でもお楽しみいただける安心・安全なツアーや、旅を愛する旅人同士が楽しめる当社主催のイベント「旅会」の情報もご紹介いたします。

■調査結果トピックス  
 【緊急事態宣言発出中と宣言解除後  
 宣言解除により「日帰りの行楽」「飲  
 と答えた方が約6割。  
 宣言解除により外出する意欲は回復  
 がえしました。

【グラフ②】緊急事態宣言発出中と解除後の変化 ※n=533

活動	緊急事態宣言発出中 (%)	宣言解除後 (%)
自宅でのんびり過ごす(家でコロナするなど)	51.6%	68.3%
ショッピング、買い物(日用品など)	42.0%	48.8%
趣味(映画・音楽鑑賞、読書など)や娯楽(ゲームなど)	42.8%	40.5%
テレビ番組を見る、スマートフォンなどでインターネットを利用する	38.1%	54.2%
飲食(外食)	17.6%	35.3%
日帰りの行楽(ドライブ、温泉、テーマパークへのお出掛けなど)	6.2%	30.2%
運動(散歩やジョギングなど)やスポーツ	28.7%	28.7%
友人などとの交遊	8.6%	23.3%
旅行(宿泊)	5.4%	22.1%
学習活動	7.7%	6.6%
その他	2.1%	1.9%

■緊急事態宣言中の休日は何をしてお過ごしっていましたか? ※複数回答可  
 ■緊急事態宣言解除後の休日は何をしたいですか? ※複数回答可

## 調査結果のメディア掲載

- 調査結果について、下記メディアへ取り上げていただき、メディアへの露出をすすめた
  - Googleニュース
  - BIGLOBEニュース
  - exciteニュース
  - @niftyビジネス
  - 読売新聞オンライン
  - AsahiShimbunDigital
  - SankeiBiz
  - 徳島新聞
  - 宮崎日日新聞
  - ニコニコニュース
  - 楽天Infoseekニュース
  - マピオンニュース

など



## 法人旅行事業

- レジャー（個人向け）よりも早期の需要回復が見込まれる**国内出張手配やMICE案件の取り込みを最優先とし、収益拡大に注力**
  - 国内出張需要がある法人顧客に対し、クラウド型出張手配管理サービス「AI Travel\*」導入に向けた販促活動を積極展開
  - 一定の需要が見込める国内インセンティブツアーなどのMICE案件の受注拡大
  - コロナ禍でも需要が拡大する法人顧客からのウェビナー案件について受注拡大

## 国際旅行事業 （インバウンド + 海外展開）

- コロナ禍における海外渡航の顧客ニーズに対応するため、現地子会社において**入国支援サービスを展開**
  - ビザやワークパーミットの取得支援
  - 政府の承認を得たホテルでの隔離パッケージの予約手配
  - 現地到着後の送迎車の手配
  - 現地到着後の車チャーター、オプションツアー、スパ等の予約手配
  - 日本人及び日本語スタッフによる現地滞在中のサポート

※ 「AI Travel」は、株式会社AIトラベルが運営し、独自のAI技術を活用したクラウド型の出張手配管理サービスです



- 新型コロナウイルスにより、旅行市場は大きな影響を受け、当社もその影響を受けております
- しかし、コロナ禍が起こす旅行市場の変化と旅行需要が回復するタイミングを好機と捉え、旅行事業拡大に向けた万全の準備を進めてまいります

## 国内旅行

- ✓ 旅工房がもつ年間30万人にのぼる海外旅行の個人顧客と約1,200社の法人顧客へアプローチを行い、早期の国内旅行の収益基盤化を図る
- ✓ インバウンド需要回復後は、確立した国内旅行事業をベースに、インバウンド事業の展開を図る

## 海外旅行

- ✓ 今後、紙のパンフレットや店舗販売が縮小していく中で、販売チャネルをインターネットに特化する当社は、企画、販売、価格競争力の面で大きなアドバンテージをもつため、海外旅行需要回復後は、質・量の両面で大規模なマーケット展開を図り、市場におけるシェアの一気拡大を図る

## 免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社旅工房（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 当資料に掲載されている内容は、資料作成時における当社の判断であり、作成にあたり当社は細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。